



## ドローンを活用したり まちづくり

～現状と展望～

成長分野として注目を集めるドローン(無人航空機)を活用した市の取組がスタートしました。今後、災害発生時の情報収集や観光分野等での魅力発信の強化、災害対策など、さまざまな分野でドローンの活用が期待されます。

### 市の取組

市では、本年3月に、DJI JAPAN(株)および株式会社シーカーと「ドローンの活用に関する合意書」を締結し、ドローンの安全かつ有効な活用の促進を図るため、秋川溪谷戸倉体験研修センター(戸倉しろやまテラス)をドローン操縦者育成研修の開催地として提供しています。

また、

今後のドローン活用の指針や管理運営方法、活用分野などを検討するプロジェクトチームを9月に立ち上げるとともに、ドローンを安全に操縦できる職員を育成するためのパイロットチームを10月に編成するなど、現在、ドローン活用を推進するための体制づくりに取り組んでいます。

### 安心・安全の取組

安心・安全のまちづくりの取組の一環として、11月20日に実施した総合防災訓練では、土砂災害などにより地域が孤立したという想定の下、メイン会場である五日市小学校に大型のドローンで支援物資を空輸するデモンストラーションを実施しました。訓練参加者からは、「被災地域への食糧調達に効果的」「医薬品などの搬送にも使える」など多くの声が上がりました。災害現場でドローンが活躍する姿をイメージしていただく機会が提供できました。



支援物資を空輸するドローン(完全自律飛行)を見守る総合防災訓練の参加者

### ドローンに関する民間事業者などの取組

市の取組と連動するように、民間事業者の取組も活発化しています。

12月10日(土)に東京サマーランドで開催される「ドローンインパクトチャレンジ2016 東京あきる野in東京サマーランド」(後援:あきる野市)は、実行委員会主催による都内初のドローンレースを行います。当日は、小学生を対象とした「子どもドローン体験教室」も開催されますが、これらドローンレース、体験教室に先駆け、12月5日(月)には、あきる野ルピアにドローン産業をリードする企業を招いての特別講演会「ドローンの可能性」(主催:あきる野ドローン協会、共催:あきる野市)が開催されます。

社会全体でドローンの活用や研究が進む中、国における「未来投資会議」で、建設現場の生産性向上に向けた、公共工事の現場にドローンを活用した新たな建設手法を導入する考えが示されるなど、この潮流は、今後ますます加速化すると考えられます。

○申込み・問合せ 実行委員会および協会(事務局・森田 ☎090-8812-3093)

### 農林業分野での取組

市と企業、研究機関、各種団体で組織する「野生鳥獣対策コ

また、市では災害発生時に必要な情報収集力や対応力をさらに強化するため、人が近づけないような山間部で発生した土砂災害現場の空撮、河川の増水により中州などに取り残された人を救助するための救命具投下訓練なども実施し、新たなドローン活用の手法や可能性を探っています。



支援物資を降ろすドローン

### その他の分野での取組

「ドローン」による共同研究の生息状況把握及び農作物被害防止方策等に関する研究が、農林水産省の「革新的技術開発・緊急展開事業」として9月に採択され、今年度から3年間の事業としてスタートしています。この取組は、全国的に大きな問題となっている野生鳥獣による農作物の被害縮減につながるものと期待されています。

### 問合せ 企画政策課

豊かな自然と観光、歴史、文化などの地域資源に恵まれたあきる野市の魅力を映像コンテンツとして充実させていく取組、橋りようや公共建物等インフラの保守・メンテナンスなどの分野でも大きな力を発揮するものと期待されることから、今後、まちづくりを進める中で、活躍の場はさらに広がると考えています。